



6年生を見て学んでほしいこと

6年生が、朝の始業前の時間を利用して学校の清掃活動をしています。11月に大雨が降り、学校の中庭が川の泥で汚れてしまってからずっと続いています。6年生の子どもたちや学級担任には、ある思いがあります。それは、「最高学年の姿を見てほしい」ということです。

特に5年生に対してその思いが強くあります。6年生が掃除をする様子を見てどう思うのかは、自由です。「私も学校をきれいにしたい」、「6年生は学校のために頑張っているなんてすごいな」、「6年生になったらできることを率先してやってみたい」など、前向きな思いを抱くことを期待しています。

それは、朝の清掃活動だけではありません。6年生が中心となって行っていた委員会活動も同じです。6年生がどんな思いで活動をしていたのかを、考えることも大事です。縦割り班の班長、通学班の班長などを、多くの6年生が務めていましたから、そこから学ぶこともあったはず。感謝の気持ちもあるでしょう。

この1年間、6年生の背中を見て感じたこと、学んだことを来年度に生かしていくことが、潮見小学校のよい伝統につながると考えています。6年生の姿を見ることができるともあと十日余り。5年生以下の潮見っ子には、最高学年の振る舞いをしっかり目に焼き付けておいてほしいと思います。きっと、6年生は、よい行いを下学年に上手につないでいくことでしょう。

キラキラバザール・やまぶきの取組

先月の18日(火)に、やまぶきでキラキラバザールが開かれました。子どもたちが作ったものを販売する活動です。この活動にはいろいろな目的が含まれています。計画をすること、販売するものを準備することが、まず挙げられます。事前に工作をしたり、装飾をしたり、調理をしたりしていました。役割分担も必要です。責任をもって取り組まなければ、スムーズな運営ができません。また、売り上げの見通しだけでなく、実際のお金の計算も必要です。さらに、接客の際には、コミュニケーション能力も大切です。こういった力を養うことを目的に、この活動を行いました。どれも子どもたちにとって大事なことです。とてもやりがいのある活動だったので、やまぶきの子どもたちがキラキラしていたことは、言うまでもありません。やまぶきの教員は、子どもたちの力に応じた学習活動ができるように、日々工夫をしています。

